

中央区

平成25年(2013年)8月

まちづくり会議通信

◆このリーフレットは、中央区のまちづくりに関する様々な課題や情報を、地域の皆さまと共有するためにお届けいたします。

第8号

1 平成25年度(2013年)第1回会議の概要

中央区では、平成22年度より、「地域が主役のまちづくり活動」の実践を目指して「中央区まちづくり会議」を設置し、さまざまな情報提供や意見交換を行っています。今年度第1回目の会議は、6月11日に開催されました。会議の冒頭では、中央区市民部長から、これまでの中央区まちづくり会議の振り返りと、今年度も引き続き「地域防災」をテーマとして、各地域での自主防災活動を継続し、深めていくための情報提供等を行っていくことについて説明がありました。

2 中央区の避難場所について

前号でも紹介しましたが、札幌市は東日本大震災における避難所の寒さ対策や物資不足等の課題を受け、今年3月に札幌市避難場所基本計画を策定いたしました。この計画を踏まえ、中央区の収容避難場所の現状と今後の検討課題等について、中央区職員から説明がありました。

中央区では、収容避難場所のうち、**基幹避難所**を避難先の基本として位置づけ、**地域避難所**は、基幹避難所にすぐに行くことができない場合など、一時的に収容する施設として位置づけていきたいと考えています。また、基幹避難所については全市統一のマニュアルが策定されましたが、中央区では今後の課題として、さらに各避難場所の実態に合わせた個別の運営マニュアルづくりを検討しています。

中央区の避難場所の種類 ※下線部は本計画で変更された箇所

名称	役割	指定場所
一時避難場所	一時的に身の安全を確保する場所	<u>全ての</u> 市内の公園 学校のグラウンド
広域避難場所	大規模火災が発生した場合に避難する場所	大規模な公園
収容避難場所	長期にわたり避難する場合に身体や生命を守る場所	中央区計 60 箇所
<u>基幹避難所</u>	基幹となる避難所	市立小中学校 (24 箇所) 中央体育館 (1 箇所)
<u>地域避難所</u>	一時的に避難者を収容する施設	地区会館 寺 など (35 箇所)

避難先の基本は基幹避難所！

日ごろから行う防災のポイント

① 家庭内備蓄 (防寒着、食糧、飲料水、薬等) を整えましょう

② いざという時にどの収容避難場所に避難するか、地域で普段から話し合っておきましょう

3 幌南小学校での避難場所運営訓練について

続いて、札幌市立幌南小学校で平成24年8月23日に行われた**避難場所運営訓練**について、幌南小学校の徳田教頭先生から紹介がありました。訓練には、地域の方々や保護者、幌南小学校教職員、中央区役所職員の約70名が参加しました。

訓練では、学校が実際に避難所となった場合、非常時の進入口はどこになるか、教室などの各部屋がどのような使われ方をするかなど、校内の様子を見学しました。

また、訓練の最後には、平成24年度第1回まちづくり会議でも模擬体験を行った**避難所運営図上訓練(HUG)**を行いました。参加者は、避難所運営で想定されるさまざまな出来事について、各テーブルごとに話し合いながら、避難所運営のシミュレーションを行いました。

徳田先生からは、「今回の体験を通して、学校教職員と保護者、地域の方々、行政関係者が情報を共有して連携すること、また、普段から災害時のお互いの役割を明確にして、いざというときに対応することの重要性が再確認できた。」との話がありました。



講師：幌南小学校
徳田教頭先生



玄関（非常時進入口）の確認



校内見学の様子



救援物資保管庫



視聴覚室（女性更衣室等）



処置室（保健室）



避難所運営図上訓練（HUG）

<発行> 中央区まちづくり会議事務局(中央区市民部総務企画課)

〒060-8612 中央区南3条西11丁目中央区役所 TEL011-205-3205 FAX011-261-2991